

114
A4104

官國幣社御處置ノ更革及教導統轄條欵建議

凡

事物千態万状恠レカラスト雖モ其類ヲ以テ其類ヲ統ヘ其
事以テ其事ヲ統治スル時條理詳明ニシテ其功奉リ易シ猶
ホ利助ノ大藏省ニ工業ノ工部省ニ文学ノ文部省ニ於カ如シ
是レ所謂其類ヲ以テ其類ヲ統ヘ其事ヲ以テ其事ヲ統治
セラル故其人ヲ得其事ヲ治ム至易ニシテ其功奉リ易シ今
神社及ニ神官教導職ノ如キ之レ似ス祭儀ニ式部寮ノ
撰ニシテ神社神官教導職ニ内務省ノ所轄多ク府社以
下ノ神社神官ニ各地方官ノ所轄ニシテ其教導ノ事務
神道四部ノ管轄多ク故其人ヲ奉ルモ亦區ニ出ワ

天
正
十一年四月

是ヲ以テ其人得難ク其効舉リ難シ繁冗錯雜ニシテ
其施行ノ方法モ亦一定セサル者ノ如シ今ヤ宜レク其類
ヲ以テ類ヲ治メ之レヲ統一ニ管理アルヘレ乃チ神社ヲ以テ
神社ヲ治メ神官ヲ以テ神官ヲ帥レ教職ヲ以テ教職ヲ
統ヘ之レカ統轄主御ノ方法ヲ立サセ玉フ時、其事至簡
ニシテ其人得易ク其費サミテ其効大ナル可ク而其統理祭
然立フヘレ仍テ左、其大略ヲ條陳ス。

- 一 合金貳拾貳萬圓 神宮始メ官國幣社定額金
- 内 拾萬圓 減額ス
- 残、 拾貳萬圓 神宮及メ官國幣社定額、當リ

一 右定額入金ヲ付シ 神宮 賢所、祭祀ヲ始メ官國幣
社以下諸社、社務并、神官教導職、進退共一切
神宮司廳へ帥委任為サセ玉ヒテ可ナラシ
但勅奏任相當ノ神官教導職、從前、通太政官
ニテ進退為玉ヒ判任以下相當ノ神官教導職、
司廳、進退ヲ任セ玉ヒテ可ナラシ。賢所帥親祭
帥用其它ノ帥祭典モ神宮祭主大サ官司ノ内東
京出張ノ者ヲ以テ奉仕セシメテ可ナラシ
一 神宮司廳、太政官直轄先可シ

但該廳定員、外更、増員アリテ可ナラン

一官國幣社以下諸社ノ造営ニ民費ニテ可ナラン

但 御奉幣 御寧附物等ハ適宜ニ行ハセ玉

フテ可ナラン

一諸神社土地ノ闕失スル事件、従前ノ儘ニテ可ナラン

一神宮司廳ヲ以テ

賢所始メ諸神社祭典及一切ノ社務ヲ統ル所トシ

ノ神宮教院明治六年設立ヲ以テ神道教務一切ヲ管

理スル所トナシテ可ナラン

但此ノ如クナル時ニ政教判然ニ途トナリ 歐洲各國

ノ通制トモ同一般ニ歸ス可ク且フ今ニ現ニ教導

職ヲレテ兵丁徵募ノ

上意ヲ説述誘導セシメ葬祭ノ事ヲ擔任シ普ク

溝社ヲ結收シ民情ヲ觀察シ之レヲ上告シ禍

害ヲ未萌ニ防阻シ 皇化ヲ贊翼セシメテ可

ナラン

前條款ノ如ク御処分為サセ玉ハ此ノ國事御多端

ノ際第一拾萬圓ノ金額ヲ減シ第二ニ内務省式

部費ノ經費ヲ減却シ繁冗ヲ省ツキ而シテ神社ノ祭

儀教導ノ施設共ニ其統理ヲ得ヘク 所謂類ヲ以

ヲ類ヲ治ルハ處有レ候ヘ實際ノ効必ラス昔日ニ陪
莅セシ是レ一舉万全ト奉愚考候間忌諱ヲ憚リ
ス建議仕候願ク取捨採納アラレヲ

明治十年八月

廿教正落合直亮
廿教正芳村正兼